



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL <https://www.nsuship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6407

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	62,312	45.6	11,195	138.7	13,116	217.8	10,498	195.7
2022年3月期第1四半期	42,811	35.6	4,690	-	4,127	-	3,551	66.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 10,328百万円 (181.9%) 2022年3月期第1四半期 3,664百万円 (68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	445.45	-
2022年3月期第1四半期	150.66	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	285,727	124,039	43.4
2022年3月期	274,871	118,189	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 124,039百万円 2022年3月期 118,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	95.00	-	190.00	285.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	170.00	-	170.00	340.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	33.8	19,000	68.1	21,000	100.7	17,000	95.0	721.37
通期	217,000	10.7	29,000	8.6	30,000	12.8	26,000	10.3	1,103.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	23,970,679株	2022年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	404,398株	2022年3月期	404,351株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	23,566,294株	2022年3月期1Q	23,566,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付で「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2022年7月29日（金）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年6月30日までの3ヶ月間）の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、底堅い貨物輸送需要や、今後の環境規制の不透明感により引き続き新造船竣工量が抑えられていることを背景に、市況は堅調に推移しました。ケープ型撒積船（18万重量トン型）市況は、天候不順により滞っていたブラジルの鉄鉱石出荷の復調により船腹需給が引き締まり、5月には一時主要5航路平均用船料が3万8千ドルに達しましたが、中国におけるゼロコロナ政策により経済活動が停滞したことから再び下落傾向となり、6月は2万ドル付近で推移する展開となりました。パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）市況は、インドが輸入量を増やすなど石炭の堅調な輸送需要に加え、地政学的背景により穀物や石炭のトレードパターンが変化し輸送トンマイルが伸びたことで、安定して高水準で推移しました。また、VLGC（大型LPG運搬船）につきましては、北米からの堅調な輸出等により船腹需給が引き締まり、市況は概ね高水準での推移となりました。

このような状況下、堅調な海運市況と長期契約による安定収益に加え、期中に進行した円安が収益を押し上げ、前年同期比で増収増益となりました。

内航海運事業において、ドライバルクにつきましては、鉄鋼関連貨物は、半導体不足による自動車生産停滞に伴い鉄鋼原料の輸送量は前年同期比で減少した一方で、鋼材の輸送量は効率配船により前年同期比でほぼ横ばいとなりました。セメント関連貨物は、建設需要の伸びにより輸送量は前年同期で増加しました。また、電力関連貨物は、春季の石炭火力発電所の稼働率が抑制されたことや電力需要の伸び悩みにより、輸送量は前年同期比で減少しました。タンカーにつきましては、LNG輸送は、新規航路の運用が開始され、輸送量は前年同期比で増加しました。LPG輸送は、季節的・構造的な需要減退があったものの、効率運航に努めたことで輸送量は前年同期比で増加し、タンカー事業全体としての輸送量も前年同期比で増加しました。

このような状況下、燃料油価格上昇に伴い運航コストが増加し、内航海運事業の業績は前年同期比で増収減益となりました。

燃料油価格につきましては、当第1四半期連結累計期間の平均消費価格（全油種）は、トン当たり約663ドルと、前年同期比では約233ドル上昇となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で125円33銭と、前年同期比では16円67銭の円安となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は623億12百万円（前年同期比45.6%増）、営業利益は111億95百万円（前年同期は46億90百万円の営業利益）、経常利益は131億16百万円（前年同期は41億27百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は104億98百万円（前年同期は35億51百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は約9割、内航海運事業の割合は約1割となっています。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,857億27百万円となり、前連結会計年度末比108億56百万円の増加となりました。このうち流動資産は現金及び預金の増加等により、127億80百万円増加しました。固定資産は船舶の減少等により、19億24百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、50億6百万円増加して1,616億88百万円となりました。流動負債は支払手形及び営業未払金の増加等により、85億83百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少等により、35億77百万円減少しました。

純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ58億50百万円増加し、1,240億39百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間				通期			
	期初予想	今回予想	増減額	増減率	期初予想	今回予想	増減額	増減率
売上高	97,000	120,000	23,000	23.7%	190,000	217,000	27,000	14.2%
営業利益	12,000	19,000	7,000	58.3%	21,000	29,000	8,000	38.1%
経常利益	11,000	21,000	10,000	90.9%	20,000	30,000	10,000	50.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,300	17,000	7,700	82.8%	17,800	26,000	8,200	46.1%

今回予想における対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

	上期	下期
対米ドル円換算率	US\$=130.17円	US\$=130.00円
燃料油価格 ※	US\$680/MT	US\$700/MT

※適合油を含む全油種平均価格を基に算出

第2四半期以降のドライバルク市況につきましては、引き続き新造船の竣工量が少なく船腹供給の伸びが低水準に留まるのに対し、マイナーバルクの底堅い輸送需要により海上荷動きの伸びが船腹供給を上回るとの見通しから、市況は堅調に推移することが予想されます。しかしながら、エネルギー価格など広範におよぶ資源価格の高止まりや金利上昇によって世界経済が減速し、海上荷動きに影響を与える可能性もあります。

このような見通しの下、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,200億円、営業利益190億円、経常利益210億円、親会社株主に帰属する四半期純利益170億円を予想しております。また、通期の連結業績につきましては、売上高2,170億円、営業利益290億円、経常利益300億円、親会社株主に帰属する当期純利益260億円を予想しております。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、年間配当性向を「連結業績ベースの概ね30%」とする方針を採っております。

2023年3月期の配当予想につきましては、上記業績予想修正を踏まえ、年間配当金を1株当たり340円とし、中間配当を1株当たり170円、期末配当を1株当たり170円と予想しております。

本日、別途「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので併せてご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,265	31,226
受取手形、営業未収金及び契約資産	29,084	35,489
有価証券	9,000	—
棚卸資産	12,148	16,438
前払費用	4,110	5,315
デリバティブ債権	839	1,042
その他流動資産	3,145	3,867
貸倒引当金	△31	△35
流動資産合計	80,561	93,341
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	181,526	178,733
建物（純額）	297	292
土地	397	397
建設仮勘定	2,218	3,040
その他有形固定資産（純額）	110	122
有形固定資産合計	184,548	182,584
無形固定資産	1,909	1,830
投資その他の資産		
投資有価証券	3,945	3,458
長期貸付金	24	11
繰延税金資産	1,579	2,149
退職給付に係る資産	1,743	1,791
その他長期資産	562	562
投資その他の資産合計	7,853	7,972
固定資産合計	194,310	192,386
資産合計	274,871	285,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,315	16,025
短期借入金	15,323	17,331
リース債務	4,380	4,293
未払金	91	335
未払費用	190	332
未払法人税等	4,991	3,204
契約負債	3,288	6,844
賞与引当金	627	157
役員賞与引当金	68	7
デリバティブ債務	1,167	1,014
その他流動負債	5,715	7,196
流動負債合計	48,155	56,738
固定負債		
長期借入金	103,991	100,107
繰延税金負債	643	660
特別修繕引当金	3,761	4,041
退職給付に係る負債	131	143
その他固定負債	0	0
固定負債合計	108,527	104,951
負債合計	156,682	161,688
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	90,527	96,547
自己株式	△996	△996
株主資本合計	117,013	123,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,373	1,003
繰延ヘッジ損益	△240	△45
為替換算調整勘定	△61	△62
退職給付に係る調整累計額	105	111
その他の包括利益累計額合計	1,177	1,007
純資産合計	118,189	124,039
負債純資産合計	274,871	285,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	42,811	62,312
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	36,727	49,439
売上総利益	6,084	12,873
一般管理費	1,394	1,678
営業利益	4,690	11,195
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	44	124
為替差益	42	1,919
その他営業外収益	24	148
営業外収益合計	112	2,193
営業外費用		
支払利息	350	267
持分法による投資損失	5	1
デリバティブ損失	315	2
その他営業外費用	5	3
営業外費用合計	675	272
経常利益	4,127	13,116
特別利益		
固定資産売却益	362	—
投資有価証券売却益	—	72
特別利益合計	362	72
税金等調整前四半期純利益	4,489	13,188
法人税等	938	2,690
四半期純利益	3,551	10,498
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,551	10,498



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,551	10,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	△370
繰延ヘッジ損益	177	195
為替換算調整勘定	1	△25
退職給付に係る調整額	△24	6
持分法適用会社に対する持分相当額	32	24
その他の包括利益合計	113	△170
四半期包括利益	3,664	10,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,664	10,328

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運 事業	内航海運 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	36,964	5,847	42,811	—	42,811	—	42,811
外部顧客への売上高	36,964	5,847	42,811	—	42,811	—	42,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	2	97	99	△99	—
計	36,964	5,849	42,813	97	42,910	△99	42,811
セグメント利益	4,500	179	4,679	10	4,689	1	4,690

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運 事業	内航海運 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	56,259	6,054	62,312	—	62,312	—	62,312
外部顧客への売上高	56,259	6,054	62,312	—	62,312	—	62,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5	5	90	95	△95	—
計	56,259	6,059	62,317	90	62,408	△95	62,312
セグメント利益又は損失(△)	11,276	△76	11,200	△6	11,194	1	11,195

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。